

謹 啓

皆様のご支援とご協力を得て、進めてまいりました
第9回関西建築家大賞が、この程その審査を終了し、
大賞受賞者が決定いたしましたので別紙の通り発表
いたします。

2007年10月24日

社団法人 日本建築家協会近畿支部
支 部 長 吉羽逸郎
建築賞分科会
分科会長 吉村篤一
(前分科会長 木原千利)

発 表

第9回関西建築家大賞受賞者

江副 敏史（えぞえ さとし）

株式会社 日建設計（大阪府中央区高麗橋4-6-2）

日本建築家協会（JIA）正会員 1957年生れ

審査に提出された作品

「兵庫県立芸術文化センター」

用途	構造	延床面積	所在地	竣工年
劇場	鉄骨鉄筋コンクリート造 鉄骨造、鉄筋コンクリート造 プレキャストコンクリート造	33,144.98 m ²	兵庫県西宮市	2005年

「大阪弁護士会館」

用途	構造	延床面積	所在地	竣工年
事務所	鉄骨造及び 鉄筋コンクリート造	17,005.29 m ²	大阪市北区	2006年

審査経過の概要

- ・JIA 近畿支部による関西建築家大賞は近畿支部地域で活躍するJIA 建築家に対し、そのすぐれた建築活動を顕彰する目的で発足した。今回はその第9回目であり、2007年3月に募集を開始した。（2007年5月末締切）
- ・今回の募集は、近畿支部地域内に 1997年1月1日～2006年12月末日迄の10年間に建てられた建築2点の建築活動を行った建築家1名に対して与えられるものである。（別紙応募要項参照）
- ・受賞者にはJIA 近畿支部から賞状、賞牌（陶芸家・鯉江良二氏作 陶製椀）及び副賞として100,000円が贈られる。
- ・審査員は1人の建築家である。今回は 出江 寛氏が審査を行った。
- ・募集締切の5月末日までに14人の応募があり分科会の書類点検を経て、書類審査（図面・写真による審査）及び現地審査を行った。
- ・審査は順調に行なわれ、10月24日、出江審査建築家から審査経過及び講評が提出された。

発表及び表彰

- ・建築賞分科会は10月24日付をもって報道関係（新聞、雑誌等）への発表を行う。
- ・受賞者 江副敏史氏に対する表彰は、11月2日『（社）日本建築家協会近畿支部大会 / 建築祭2007兵庫』（会場：姫路文学館 講堂）において行う。

建築賞分科会は次のメンバーで構成された。

支部長 吉羽逸郎（アイ・エフ建築設計研究所）

分科会長 吉村篤一（建築環境研究所）

委員 木原千利（木原千利設計工房）（前分科会長）

遠藤秀平（遠藤秀平建築研究所）

大石義一（京都造形芸術大学）

木村博昭（京都工芸繊維大学）

竹原義二（無有建築工房）

森崎輝行（森崎建築設計事務所）

山本光良（昭和設計）

第9回関西建築家大賞 審査講評

今回は14人の建築家の応募があった。その中から書類審査で5人を選び、現地を見て回った。第7回までは応募に3作品の提出が必要であったが、3作品を揃えることが近年なかなか難しくなり、第8回より2作品となったがそれでも今回審査に当たって1作品は良いのだが、2作品目が力がなかった。そんな中で江副氏の2作品は優れていた。それは『大阪弁護士会館』と『兵庫県立芸術文化センター』で、造形的には奇を衒わず普通性の高まった品格の高いデザインと密度の高いディテール、そして木・煉瓦・コンクリート・ガラスに限定した素材の表現に深さと力強さを感じた。

これまでの入賞者は全てアトリエ派の建築家であったが、今回は大組織の中から選ばれた意義は大きい。組織事務所の作品にはよく顔（個性）がないと言われてきたが、この2つの作品には個性的な美学を強く感じた。なかでも弁護士会館に於ける谷崎潤一郎の「陰翳礼讃」的な明暗の表現や、煉瓦を布のように柔らかく艶っぽく表現されているのが素晴らしい。

現代、建築の多くは全てを真白に塗り尽くし、素材のもつ情感を打ち消した上で己の美学、造形を明るくクリエイティブに表現しているのはそれなりに良いのだが、この手法があまりにも多く、厭き厭きしているそんな時、素材のもつ美しさや陰翳の深さを追求した情緒的な表現をしたこの2作品は、第9回「関西建築家大賞」にふさわしい作品と思った。

審査建築家 出江 寛

第9回 関西建築家大賞募集

趣旨

J I A日本建築家協会の会員建築家はその業務において歴史的な文化を継承し、自然環境をまもり、安全で快適な環境をつくり、人々の共感と理解に支えられつつ、人間の幸福と社会文化の形成に寄与すべく日々努力しております。

この建築家の職能をよりいっそう明確なものとするためにJ I A近畿支部では近畿支部地域で活躍する建築家に対し、そのすぐれた建築活動を顕彰する関西建築家大賞の制度を設置しております。

本賞は、上記のJ I Aの理想にもとづき、しかも長期にわたって機能的造形的デザインの力量を実現した建築設計の実績、すなわち過去10年間に実現もしくは提示された2つの作品を対象とし、唯一人の審査建築家の価値観によって一人の建築家を選考するものです。

1991年に発足したこの大賞の第1回から第8回までの審査建築家と大賞受賞者は次の方々です。

第1回 審査建築家 川崎 清氏 受賞者 出江 寛氏 第5回 審査建築家 原 広司氏 受賞者 遠藤秀平氏
第2回 審査建築家 高橋誠一氏 受賞者 木原千利氏 第6回 審査建築家 阪田誠造氏 受賞者 坂本 昭氏
第3回 審査建築家 内井昭蔵氏 受賞者 坂 茂氏 第7回 審査建築家 林 昌二氏 受賞者 高口恭行氏
第4回 審査建築家 東 孝光氏 受賞者 竹原義二氏 第8回 審査建築家 穂積信夫氏 受賞者 木村博昭氏
今回の審査建築家は 出江 寛氏 です。

いま、第9回関西建築家大賞の選考を実施するにあたりこれまで以上に多くの方々のご応募を期待いたします。

【応募要項】

資格 J I A正会員であること。但し、非会員の方が応募しようとする場合は5月31日までにJ I A会員資格を取得していること。(入会手続きについては事務局までご相談ください)

作品 2点。近畿支部地域内に完成した建物。前回応募作品も可。

1997年1月1日～2006年12月末日迄の作品とする。

近畿支部地域内とは、滋賀県、京都府、奈良県、和歌山県、大阪府、兵庫県をいう。

日程 応募期間 2007年3月14日～5月31日

書類審査 " 6月

現地審査 " 7月～9月

受賞者発表 " 10月

表彰式(予定) " 11月(近畿支部大会にて)

登録費 10,000円

申込方法 応募を希望される方は、応募資料請求用紙(裏面)に必要事項を記入の上、J I A近畿支部事務局までF A Xして下さい。(e-mailでも可) 追って応募申込書等、関係資料をお送り致します。

【提出図書類】

応募申込書

図面：配置図、平面図、断面図、主要矩計図。A2版図面をA3に背張り製本

(1)写真データ5～10点(JPEGデータで解像度350dpi以上のものをCD-Rに保存のうえ提出下さい)

(2)写真5枚～10枚カット(写真一枚の大きさは最大でA3まで) (1)(2)は内容の異なる物でも可

建築概要：発注者、施工者、構造、用途、階数、高さ、面積

設計趣旨：800字程度

確認(計画)通知書 及び 検査済証の写し

確認申請不要物件の場合は不要理由を明記したものを提出下さい。

____、____は送付する指定用紙に記入のこと。

以上の提出図書類を【各作品】ごとに収めて2007年5月31日必着でお送り下さい。

(提出について：持参の場合は5月31日18時迄、郵送の場合は当日消印有効とします。)

封筒、図面、写真、にそれぞれ氏名・作品名を明記のこと。

応募提出図書類は2007年10月以降に返却致します。

以上の提出図書類の作成 及び 送付などに要した費用は、応募者の負担とします。

【審査建築家 及び 表彰】

審査建築家 出江 寛氏

表彰 大賞 1名。該当者がいない場合は、これに準ずる受賞を行うことがある。
JIA近畿支部大会(2007年11月予定)において表彰イベントを行う。
審査結果は、近畿支部会報誌、新聞及び雑誌等に公表する。

賞 賞状、賞牌(陶芸家・鯉江良二氏作品)、副賞 100,000円

付記 受賞者は、JIA近畿支部が関係資料を掲載、展示など、啓発の目的に使用する場合は無償で貸与すること。

審査建築家プロフィール

学歴 1957年 立命館大学工学部土木工学科 卒業
 職歴 1951年 京都大学施設部技術課建築係 勤務
 1959年 京都大学施設部技術課建築係文部技官 退職
 1959年 (株)竹中工務店大阪本店設計部 入社
 1976年 (株)竹中工務店大阪本店設計部副部長 退職
 1976年 出江寛建築事務所 開設
 1984年 大阪市立大学講師(～1994年3月)
 1986年 ドイツ講演：アーヘン大学、ダルムシュタット大学、ブランシュバイク大学、ハノーファー工科大学、ベルリン工科大学
 1991年 出江建築事務所(株)に組織変更
 1992年 (社)大阪府建築士会理事(～1994年3月)
 1992年 (社)新日本建築家協会本部理事(～1994年5月)
 1994年 大阪芸術大学講師(～1999年3月)
 2002年 (社)日本建築家協会近畿支部支部長(～2006年3月)

お問合せ・提出先 社団法人 日本建築家協会近畿支部
 建築賞分科会
 〒541-0051 大阪府中央区備後町 2-5-8 (綿業会館)
 TEL06-6229-3371 e-mail jia@bc.wakwak.com
 きりとりせん

第9回関西建築家大賞 応募資料請求用紙

(FAX返信 06-6229-3374)

フリガナ 応募者氏名	
勤務先	
連絡先	〒 TEL _____ FAX _____ e-mail _____